

英語教育学サブプログラム

専門科目(英語教育学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OBBALA1	英語教育学特別論文演習IA	2	1.0	1	春AB	応談	平井 明代, 小野 雄一, 小泉 利恵, 土方 裕子, 末森 咲, 柳沢 明文, 飯塚 雄大	本科目は、授業担当者が、自ら主指導教員、副指導教員として指導する学生に対して行う授業である。外国語として英語を学ぶ上で、その指導および習得に関して、文献および実証的・実践的な研究を行い、英語教育学についての博士論文執筆を完成させるために必要な、明確な目的意識の涵養と博士論文執筆に関するスキルの修得を目的とする。英語教育学特別論文演習 IAでは、研究倫理に関する知識の確認、専門知識の深化、論文執筆や研究成果の公開等に関わるスキルを演習形式で修得することを目的としている。	各教員の主指導学生(主として1年次)に限る。対面での実施を予定しているが、状況によってオンライン(オンデマンド、リアルタイム配信)に変更することもある。主専攻必修科目。対面
OBBALA2	英語教育学特別論文演習IB	2	1.0	1	秋AB	応談	平井 明代, 小野 雄一, 小泉 利恵, 土方 裕子, 末森 咲, 柳沢 明文, 飯塚 雄大	本科目は、授業担当者が、自ら主指導教員、副指導教員として指導する学生に対して行う授業である。外国語として英語を学ぶ上で、その指導および習得に関して、文献および実証的・実践的な研究を行い、英語教育学についての博士論文執筆を完成させるために必要な、明確な目的意識の涵養と博士論文執筆に関するスキルの修得を目的とする。英語教育学特別論文演習 IBでは、英語教育学特別論文演習IAで修得した専門知識をさらに深化させ、論文執筆や研究成果の公開等に関わるスキルの拡大を目的とする。担当教員は博士論文の完成と研究成果の積極的な公開に向けての総合的な研究指導を実施する。	各教員の主指導学生(主として1年次)に限る。対面での実施を予定しているが、状況によってオンライン(オンデマンド、リアルタイム配信)に変更することもある。主専攻必修科目。対面
OBBALA3	英語教育学特別論文演習IIA	2	1.0	2	春AB	応談	平井 明代, 小野 雄一, 小泉 利恵, 土方 裕子, 末森 咲, 柳沢 明文, 飯塚 雄大	本科目は、授業担当者が、自ら主指導教員、副指導教員として指導する学生に対して行う授業である。外国語として英語を学ぶ上で、その指導および習得に関して、文献および実証的・実践的な研究を行い、英語教育学についての博士論文執筆を完成させるために必要な、明確な目的意識の涵養と博士論文執筆に関するスキルの修得を目的とする。英語教育学特別論文演習 IIAでは、学生自身の研究の進捗状況に関する報告、それを受けた教員との討論形式の授業を中心に実施する。また、受講者全員による構想発表と質疑応答の場を設ける。	各教員の主指導学生(主として2年次)に限る。対面での実施を予定しているが、状況によってオンライン(オンデマンド、リアルタイム配信)に変更することもある。主専攻必修科目。対面
OBBALA4	英語教育学特別論文演習IIB	2	1.0	2	秋AB	応談	平井 明代, 小野 雄一, 小泉 利恵, 土方 裕子, 末森 咲, 柳沢 明文, 飯塚 雄大	本科目は、授業担当者が、自ら主指導教員、副指導教員として指導する学生に対して行う授業である。外国語として英語を学ぶ上で、その指導および習得に関して、文献および実証的・実践的な研究を行い、英語教育学についての博士論文執筆を完成させるために必要な、明確な目的意識の涵養と博士論文執筆に関するスキルの修得を目的とする。英語教育学特別論文演習 IIAに引き続き、学生に対して専門知識をさらに深化させ、また論文の執筆や研究成果の公開等に関わるスキルを修得させることを目的とする。とくに専門分野における討論技術の修得を目指す。	各教員の主指導学生(主として2年次)に限る。対面での実施を予定しているが、状況によってオンライン(オンデマンド、リアルタイム配信)に変更することもある。主専攻必修科目。対面
OBBALA5	英語教育学特別論文演習IIIA	2	1.0	3	春AB	応談	平井 明代, 小野 雄一, 小泉 利恵, 土方 裕子, 末森 咲, 柳沢 明文, 飯塚 雄大	本科目は、授業担当者が、自ら主指導教員、副指導教員として指導する学生に対して行う授業である。外国語として英語を学ぶ上で、その指導および習得に関して、文献および実証的・実践的な研究を行い、英語教育学についての博士論文執筆を完成させるために必要な、明確な目的意識の涵養と博士論文執筆に関するスキルの修得を目的とする。特に英語教育学特別論文演習 IIIAでは、考察した成果を論文としてまとめ上げる技術の修得をめざす。また、受講者全員による中間発表と質疑応答の場を設ける。	各教員の主指導学生(主として3年次)に限る。対面での実施を予定しているが、状況によってオンライン(オンデマンド、リアルタイム配信)に変更することもある。主専攻必修科目。対面
OBBALA6	英語教育学特別論文演習IIIB	2	1.0	3	秋AB	応談	平井 明代, 小野 雄一, 小泉 利恵, 土方 裕子, 末森 咲, 柳沢 明文, 飯塚 雄大	本科目は、授業担当者が、自ら主指導教員、副指導教員として指導する学生に対して行う授業である。外国語として英語を学ぶ上で、その指導および習得に関して、文献および実証的・実践的な研究を行い、英語教育学についての博士論文執筆を完成させるために必要な、明確な目的意識の涵養と博士論文執筆に関するスキルの修得を目的とする。英語教育学特別論文演習 IIIAを受け、この英語教育学特別論文演習IIIBは考察した成果を論文としてまとめ、完成させる技術の修得をめざす。	各教員の主指導学生(主として3年次)に限る。対面での実施を予定しているが、状況によってオンライン(オンデマンド、リアルタイム配信)に変更することもある。主専攻必修科目。対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OBBALB1	英語教育学プロジェクト特別演習 IA	2	1.0	1 - 3	春ABC	応談	平井 明代, 小野 雄一, 小泉 利恵, 土方 裕子, 末森 咲, 柳沢 明文, 飯塚 雄大	この授業は英語教育学サブプログラムの院生が独創的な研究プロジェクトを遂行し、その成果を国際学会で発信する力の養成を目的とする。指導教員はプロジェクトへの助言とともに、学術英語の使用、発表スライドおよびポスターの作成を含めた学会発表事前指導を行い、終了後に報告を受ける。学会発表の成果を評価の対象とする。	各教員の主指導学生に限る。対面での実施を予定しているが、状況によってオンライン(オンデマンド, リアルタイム配信)に変更することもある。西暦偶数年度開講。対面
OBBALB2	英語教育学プロジェクト特別演習 IB	2	1.0	1 - 3	秋ABC	応談	平井 明代, 小野 雄一, 小泉 利恵, 土方 裕子, 末森 咲, 柳沢 明文, 飯塚 雄大	この授業は英語教育学サブプログラムの院生が独創的な研究プロジェクトを遂行し、その成果を国際学会で発信する力の養成を目的とする。指導教員はプロジェクトへの助言とともに、学術英語の使用、発表スライドおよびポスターの作成を含めた学会発表事前指導を行い、終了後に報告を受ける。学会発表の成果を評価の対象とする。	各教員の主指導学生に限る。対面での実施を予定しているが、状況によってオンライン(オンデマンド, リアルタイム配信)に変更することもある。西暦偶数年度開講。対面
OBBALB3	英語教育学プロジェクト特別演習 IIA	2	1.0	1 - 3				この授業は英語教育学サブプログラムの院生が独創的な研究プロジェクトを遂行し、その成果を国際学会で発信する力の養成を目的とする。指導教員はプロジェクトへの助言とともに、学術英語の使用、発表スライドおよびポスターの作成を含めた学会発表事前指導を行い、終了後に報告を受ける。学会発表の成果を評価の対象とする。	各教員の主指導学生に限る。対面での実施を予定しているが、状況によってオンライン(オンデマンド, リアルタイム配信)に変更することもある。西暦奇数年度開講。対面
OBBALB4	英語教育学プロジェクト特別演習 IIB	2	1.0	1 - 3				この授業は英語教育学サブプログラムの院生が独創的な研究プロジェクトを遂行し、その成果を国際学会で発信する力の養成を目的とする。指導教員はプロジェクトへの助言とともに、学術英語の使用、発表スライドおよびポスターの作成を含めた学会発表事前指導を行い、終了後に報告を受ける。学会発表の成果を評価の対象とする。	各教員の主指導学生に限る。対面での実施を予定しているが、状況によってオンライン(オンデマンド, リアルタイム配信)に変更することもある。西暦奇数年度開講。対面